

## 同じところも違うところも、七色の魅力の上甑

上甑島と中甑島と広範囲に広がる上甑地区。北側には有名な「長目の浜」がありますが、このほかにも地区には花々や地形、夕日など、美しい自然を体験できる場所が多くあります。

上甑地区は、中甑、中野、江石、平良、小島、瀬上、桑之浦の7つの集落が集まっている地区です。同じ上甑地区の集落でも、よく見てみると方言が少し違っていたり、それぞれの生活に特徴があったり、浜辺の色や石が違っていたり…それぞれ異なった魅力を持っています。

2つの橋と2つのトンネルができることにより、昔よりも集落間の行き来がしやすくなりました。歩いたり、車に乗ったりしてみて、それぞれの集落の違いや共通点を探してみてはいかがでしょうか？



## 上甑地区広域図



## せがみ 瀬上 山・川・海から生まれた伝説

山の栄養分が流れ込んでくる浦内湾のある瀬上では、アサリやタイラギ、トコブシなどの「貝」がたくさん獲れる場所です。ボタンにするためアワビの殻の販売もしていました。豊かな自然との暮らしの中で、様々な営みがなされています。

- イチオシ方言: あっちょよ～!(驚)
- かえるの呼び方: どんこう
- 瀬上の行事  
4月 三月節句 11月 秋の大祭

## 浦内湾

たくさんの海産物が獲れる豊かな湾。かつて捕鯨基地があり、沖で獲ったクジラの解体処理をしていた。また、昭和40年代までは真珠業で栄えていた。現在は、マグロの養殖が行われている。

浦内湾の海岸はほとんどが岩場で、アオサ、岩ガキがとれる。

かつて「児島」の端に小さな祠が建てられていた。戦後は漁協に移され今も人々を見守っている。

## おしま 小島

“おしま”的“こじま”？

西側にボッコリと突き出した「児島」と呼ばれる場所が名前の由来。今は陸続きですが、昔はその名の通り「島」でした。パッションフルーツの栽培やマグロの養殖など、この集落では甑島の特産品が作られている。

- イチオシ方言: あばよ～!(驚)
- かえるの呼び方: ろんくーろん
- 小島の行事  
2月 かんなめ祭 11月 秋の大祭(新嘗祭)  
8月 盆踊り

